

平成 30 年 7 月豪雨災害の復旧計画について No.2

1. 災害復旧状況

平成 30 年 7 月豪雨は、西日本を中心に多くの地域で河川の氾濫や浸水、土砂災害が発生し、庄原市におきましても、全壊、床上・床下浸水等 300 戸以上の被害があり、市道につきましては、現在も 40 路線が通行規制されています。

国の補助が受けられる公共土木施設の災害申請箇所は 466 件で、農林施設も 1,017 件になる見込みです。

被災直後より現地を調査し、測量設計を実施してきましたが、広範囲で被害が発生したため、広島県内の建設コンサルタントや技術者が不足し、また、被災件数も膨大であるため、災害査定は、公共土木災害は平成 31 年 2 月 1 日に完了する見込みです。なお、農地・農業用施設災害の査定は平成 31 年 1 月 11 日に完了しましたが、簡易な測量を行っている箇所も多く、今後、再度測量を実施する予定です。

査定及び工事発注件数

単位：件

区分	査定申請予定	査定完了	工事発注済
河川	252	186	6
道路	213	173	73
下水道	1	1	1
農地	442	442	0
農業用施設	552	552	28
林道施設	23	23	0
計	1,483	1,377	108

※件数は平成 31 年 1 月 11 日現在のものです。

裏面に続く

2. 今後の事業計画について

河川・道路災害につきましては、災害査定終了後、随時工事発注してまいります。通行止の路線や主要な路線等、緊急性の高いものからとなります。

農地・農業用施設災害につきましては、災害査定終了後、平成 31 年 1 月から実施設計書を作成し、計画承認の経路を経て、工事発注することとなります。

工事発注に係る優先順位は、防災上重要なため池や、受益の多い農業用施設など緊急度の高いものからとします。従いまして、来春の作付け等農業生産活動に大きく影響を及ぼすものと考えられますが、ご理解いただきますようよろしくお願い致します。

年次計画

区分	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
農地 農業用施設	災害発生		
	応急工事		
	現地調査		
	現地測量 査定設計書作成		
	災害査定 1/11 完了	実施設計書作成・計画承認	
		工事（優先度の高いものから発注）	
河川 道路	災害発生		
	応急工事		
	現地測量 査定設計書作成		
	災害査定 2/1 完了予定		
		実施設計書作成	
		工事（優先度の高いものから発注）	

お問合せ先

庄原市災害復旧本部

災害復旧対策班

農林施設グループ TEL0824-73-1117

公共土木グループ TEL0824-73-1116